

TM ニュース

TM ミーティング参加生徒用情報⑥ 2017.12.20

TM 研究発表会

12月9日(土)13:30 から2年生10名と1年生7名の研究発表会が講堂で開催されました。

5月に各自がテーマを設定し、6月から調査を開始し、9月に調査内容を決められた論文形式に書き上げるとともに、ゼミごとに発表会を行いました。数回の見直しをしたうえで最終的な論文が完成し、”論文集”としてまとまりました。また、2年生と各ゼミから選ばれた1年生がプレゼンテーションソフトを用いて、TM生、保護者、来賓の前での今回の発表になりました。



発表の後に、東京女子医科大学の金子芳先生からご講評をいただきました。そのいくつかをご紹介します。

- ・プレゼンテーションは将来必要になるので、使い慣れて下さい。
- ・情報の出典で、インターネットを用いる際は、玉石混交なので気を付けて行う。
- ・テーマが睡眠、保湿、ストレス、蚊に対する対策等、自己管理の大切さがよくわかる内容でした。
- ・睡眠、食事などに関心を持って調べている発表が見られたが、医療にかかわり日々それらの大切さを感じているので、テーマとして目の付け所が良かった。
- ・AIが発達して人に代わって行う仕事は増えるであろうけれども、人が人にかかわる仕事はなくなりません。特に医療では人とのコミュニケーション能力が大切です。



東京女子医科大学 金子 芳先生

さらに 校長先生からの次のお話がありました。

1. 医学部進学を目指す人同士で切磋琢磨してほしい。今日の発表会でお互いの研究の内容を聞き、質問しあい、一体感を持つ貴重な経験ができた。
2. TMの活動は多くの人に支えられている。TMだけのためのいろいろな大学・病院などのプログラムが行われている。それはいろいろな立場の医療関係に携わる方々が、やってきた仕事ややろうとしている仕事を、これからのTM生に引き継いでほしいという思いで応援してくれているのではないかと感じている。そのことを忘れずにいてほしい。
3. 最後まで頑張って目標を諦めずに進んでほしい。医師になりたいという決意をもって集まったのだから、「応援してくれる人はたくさんいる！」ことを胸に、地道に、確実に一歩ずつ前進してほしい。最後に記念写真を撮りました。



<お知らせ>

来年1月9日(火)放課後に、東京女子医科大学の名誉教授 岩田誠先生による講演会があります。当日の持ち物があります。忘れずに持ってきてください。

小さな手鏡とmm単位の目盛りのある透明な物差し

プレゼンテーションについて

今回の研究発表のプレゼンテーションを通して作成した側にとどまらず聞く側でもこんな工夫があれば良いと思うことがあったと思います。いくつか気づいた点を記します。

- ・見ている人に流れがわかるような構成になっていると理解しやすい。

1つ1つのスライドがどんな関係でつながっているのか、全体像がわかりやすい工夫をしましょう。例えば、目次フローチャートなどで示していると、早いうちから発表の概要が予測できる。また、スライドにページ番号などを記していると質問などする時に役に立つ。

- ・伝えたい事を的確に知らせるためには、聞いている人がパッと見て理解できるスライドであることが望ましい。

文章や数字がたくさん提示されている場合は、文章などを読みつつ話を聞くのは聞き手に取ってハードである。情報は絞り込み、わかりやすい図やグラフなどの工夫が必要になる。また、よく、“ワンスライド ワンメッセージ”といわれています。

- ・客観性と主観性を意識する。参考にした文献から引用したことと、自分の考えとが混ざることのないように、明確に区分した論文を書き、発表をする。

TM 講演会

「医学部、難関大学現役合格に向けて」

11月15日(水)15:30から、進学予備校の大島一秀先生から、たくさんの資料をご用意いただき、医学部受験についての詳しいお話をしていただきました。



1. センター試験の時間割や問題数、平均点などが示され、「2日間の長時間の試験に必要なことは何か」、「日頃学習を進めていくうえで心がけていかなければならないことは何か」「基礎的な問題ではあるが、時間を考えて処理し、高得点を取るための対策は何か」などを考えていかなければならないと話されました。
2. 医学部医学科の、大学ごとの教科別の合否偏差値、目指すべき目標値などが示されました。
3. 国公立大学の医学科におけるセンター試験と個別学力試験の比率や、個別学力試験の科目に注目するといくつかのパターンがあることが示されました。



4. 私立大学の医学部における小論文の有無などによる違いを見せていただきました。

具体的に現役合格者のデータから、高2の冬までに高1・高2の英語、数学は大丈夫と言える成績までおしあげておくことが重要であること。つまり、高2のセンターチャレンジで、英語、数学は高得点が取れるレベルになっていると、その後の学習が順調に進み合格につながるということが紹介されました。理科については定期テストの得点をしっかり取り、理論的に考える習慣をつけておくことが必要とのことでした。

- ☆ TM ミーティングでこれまでにいろいろなお話を伺い、たくさんの資料を保管していることと思いますが、それらをいつでも活用できるように整理しておきましょう。

3年生はこれからセンター試験、個別学力試験と続きますので、体調を崩さないように気を付けて、最後まで頑張ってください。

